



目次

生成AI向けデータセンターを新設（㈱ユピタス）…	2
「第72回優良従業員表彰式」被表彰者の皆様	
経済講演会開催報告 ……	3
「舞鶴・綾部創業塾」開催報告 など	
青年部だより、女性会だより ……	4
舞鶴工業集積協議会が	
「京都ビジネス交流フェア」に出展	

第72回優良従業員表彰式を開催 42人の功績を称える



勤続“10年以上表彰”を受けられた皆様（2列目、3列目）

舞鶴商工会議所は2月17日に「第72回優良従業員表彰式」を開催し、24事業所からそれぞれ推薦を受け、事業の発展に貢献された42人の方々の功績を称えました。式典では、嵯峨根会頭が式辞を述べたあと、対象者に表彰状と記念品を贈呈。その後、受賞者を代表して辻昭嘉氏（カナデビア㈱舞鶴工場）が「気持ちを新

たに創意工夫を重ね一層職務に精励する」と謝辞を述べられました。なお、今回の表彰者の内訳は、勤続30年以上6人、20年以上8人、10年以上21人、5年以上7人の合計42人でした。（2ページに被表彰者名簿を掲載しています）

中小企業の経営をバックアップ

中小企業相談所のご案内



無料相談・秘密厳守

お困りの際はぜひ相談を

金融	低利な運転資金・設備資金、金融機関の融資制度の利用
経営	販売促進、生産性向上、IT活用等のサポート及び補助金の利用
法務	知的財産権の保護・活用、多重債務の解決
労務	労働・雇用保険の加入、従業員の福利厚生制度の利用
その他	創業、事業承継等、経営面でのあらゆる相談・セミナーの開催



経営に関する情報
を発信

舞鶴市産業支援プラットフォーム
「公式LINE」
ぜひご登録ください



〔舞鶴商工会議所HP・SNSはこちら〕

ホームページ



Instagram



X



平工業団地に 生成AI向けデータセンターを新設

(株)ユビタスが新工場を立地することになり、同社と舞鶴市が環境保全と地域経済の振興を図るために、1月29日に立地協定を締結しました。データセンターの建設と操業を通じて必要となる物資等に関する地元企業への配慮や生成AI技術を活用した地域産業と市民生活の高度化、人材育成にも取り組むこととされています。

計画内容	生成AI向けデータセンターの新設
立地場所	平工業団地(舞鶴市字平)
敷地面積	23,385㎡
投資額	約180億円
新規雇用人数	約3～10人
竣工時期	令和9(2027)年中を予定
その他	データセンター運営子会社「HikariX」(ひかりえっくす)の本社を舞鶴市に設立



締結式に出席した(株)ユビタス代表取締役CEOのWesley Kuo<郭栄昌>氏(中央)
(1月29日:舞鶴市政記念館)

(株)ユビタス

世界最高水準のGPU仮想化技術とクラウドストリーミング・プラットフォーム技術を有するテクノロジー企業。任天堂などの大手ゲーム会社や通信事業者向けにクラウドゲーム事業のプラットフォーム構築やコンテンツ提供をおこなっている。本社は、東京都新宿区。

おめでとうございます

商工経済関係 優良従業員表彰式

被表彰者42人の皆様

(表紙に関連記事)

勤続30年以上

氏名	事業所名
森口 一男	飯野港運(株)
辻 昭嘉	カナデビア(株)舞鶴工場
廣澤 重信	ジャパンマリンユナイテッド(株)舞鶴事業所
細谷 英司	ジャパンマリンユナイテッド(株)舞鶴事業所
松尾 博史	JMUディフェンスシステムズ(株)
大田 周吾	弥栄電設工業(株)

勤続20年以上

綱本 輝	飯野港運(株)
井口 知哉	(株)京洋
東 謙也	シンコー開発(株)
濱尾 悠	(株)谷田工務店
西村 祐司	(株)丹遊商事
山崎 洋志	(株)丹遊商事
岡田 大介	土井油糧(株)
谷口 宇司	(株)若田商会

勤続10年以上

上野 恵理	京都府信用漁業協同組合連合会
濱垣 宏章	京都府信用漁業協同組合連合会
梅崎 孝之	ケンコーマヨネーズ(株)西日本工場
杉本 智佳	(株)光栄ビルメンテナンス
田野 めぐみ	(株)光栄ビルメンテナンス
秋友 涼二	(株)幸友社
村田 一都	(株)幸友社

氏名	事業所名
田仲 博明	(株)坂根工務店
片山 智文	シンコー開発(株)
竹田 季代	(株)田中屋
倉橋 兼広	(株)ホリグチ
武安 貴志	(株)ホリグチ
唐澤 泰弘	(株)舞京通商
和田 昌久	(株)舞京通商
内藤 知晃	舞鶴厚生(株)
宗末 一幸	舞鶴厚生(株)
千賀 睦子	舞鶴倉庫(株)
田多 哲士	舞鶴倉庫(株)
小西 優輔	ヤマキ建鉄(株)
笹岡 ひかり	ヤマキ建鉄(株)
戸田 健太	ヤマキ建鉄(株)

勤続5年以上

谷口 滉太	(株)アート
前田 愛実	(株)アート
大久保 美海風	カナデビア(株)舞鶴工場
本島 冬香	ケンコーマヨネーズ(株)西日本工場
小野里 将	(株)総進建設工業
加藤 正広	(株)総進建設工業
辻 博	日本海警備保障(株)

※敬称略順不同

経済講演会を開催しました ～さくらインターネット田中社長が 挑戦の必要性を語る～



「まいづる親善大使」に就任された、さくらインターネット(株)代表取締役社長の田中邦裕氏と舞鶴市政策アドバイザーに就任された(株)日本総合研究所プリンシパルの東博暢氏をお招きし、舞鶴市産業支援プラットフォーム(舞鶴商工会議所・舞鶴市)主催による経済講演会を2月27日に商工観光センターで開催し、120人の参加者を前にお二方から今後の地域経済を盛り上げる熱意あふれるメッセージが発信されました。

第一部では、田中氏が「地域と未来を創るアントレプレナーシップ」をテーマに語りました。舞鶴高専在学中に起業した当時のエピソードを交え、今の日本経済について「30年間の停滞期を脱し、AIやデータセンターなどの台頭により大きな成長期を迎えている」と力説されるとともに「世の中の事象は、最初から決められていて変えられない『定数』ではなく、自らの行動で変えられる『変数』である」という力強いメッセージを送られました。田中氏自身も数多くの失敗を経験しながらも挑戦を止めなかったことが、会社を成長させる原動力になったと語られ、年齢に関係なく、何度でも挑戦する「アントレプレナーシップ」を持つことこそが、停滞感を打破し地域を豊かにする鍵であると呼びかけました。

第二部では東氏を交え「これからの時代における舞鶴市の可能性」をテーマに語り合わせ、舞鶴には「舞鶴高専」という人材基盤と、エネルギーや防衛、ものづくり産業が集積している特異性があり、“非常に大きなチャンスがある”と両氏の意見が一致しました。AIという強力な追い風に乗るためには、地域全体で若者や起業家の「挑戦」を応援する風土づくりを進めていくことが不可欠であると熱く語り合わせ、参加者は未来に向けて失敗を恐れず新たな挑戦へと踏み出すための、活力とヒントを得る機会となりました。



成長への原点を語る田中社長
(2月27日：舞鶴市商工観光センター)



舞鶴・綾部創業塾を 開催しました

～創業の夢の実現へ—13人が受講～



創業の基礎知識を岡原氏から学ぶ受講者
(2月3日：舞鶴商工会議所)

舞鶴商工会議所と綾部商工会議所の主催で、「舞鶴・綾部創業塾」を1月20日から2月17日までの毎週火曜日に全5回開催し、13人が参加されました。

講師に、岡原慶高氏(アクセルコンサルティング(株)代表取締役・中小企業診断士)を迎え、创业者の心構えからアイデアの発想法、事業コンセプトの考え方、利益計画の作り方まで幅広く講義していただきました。

また、社会保険労務士から「労働保険の基礎知識」、各金融機関の担当者や京都府事業承継・引継ぎ支援センターの担当者からは「創業融資制度の概要」や「融資を受ける際のポイント」、「後継者人材バンク事業」について説明いただきました。

講座の最終日には、受講者がそれぞれ思い描くビジネスプランを発表し、お店の屋号や事業内容、ターゲットや顧客に対する提供価値といった事業コンセプト、セールスポイントなどを共有した上で、受講者間で意見交換をおこない、交流を深めてもらいました。

受講者からは、「講師の講義内容がとても詳しく分かりやすかった」「事業計画を言語化することで課題や修正すべき点がより明確になった」などといった感想をいただき、今後の起業への意欲が高まったことが伺えました。

食料品・水産部会、料理飲食部会 合同事業 ～最新のトレンドと技術を学び、ビジネスチャンスを探る～

食料品・水産部会(部会長：藤元裕泰 舞鶴さかなセンター(協)代表理事)と料理飲食部会(部会長：松井恭子 (株)東舞鶴グランドホテル代表取締役)の部会員16人が、2月25日に開催された「第23回シーフードショー大阪」を視察しました。当イベントは、水産物関連の食材及び最新の水産加工技術や鮮度保持技術などが披露される西日本最大級の展示商談会です。

参加者は、活気あふれる会場内の各ブースを巡り、出展者から最新の冷凍保管技術やDXを活用した流通システムなどの説明を受けたほか、水産業界の現状や今後の展望について積極的な意見交換が行われました。

本視察において、参加者からは、「地域の食品業界や飲食店経営にも活かせる技術が多かった」「持続可能な調達や物流の工夫が非常に参考になった」などの声が上がリ、最新の市場動向を肌で感じる有意義な学びの場となりました。



2部会合同で「シーフードショー大阪」を視察
(2月25日 大阪ATCホール)

青年部



青年部だより・女性会だより



女性会

「45周年記念式典」を開催しました

舞鶴商工会議所青年部（舞鶴YEG）は、1月24日に「創立45周年記念式典」を舞鶴市商工観光センターで開催しました。

記念式典には、青年部会員やOB（躍翔会）をはじめ、日本・近畿・京都府青連の青年部会員等157人が出席しました。

オープニングの舞鶴こどもコーラス部の児童らによる合唱に続いて舞鶴YEGのこれまでの活動をまとめた映像を上映。45周年実行委員会楠田真優子実行委員長の開会宣言で開幕しました。

最後に、今後5年間の青年部スローガンや行動指針を記した「中期ビジョン」を丸山拓哉副会長が読み上げ、令和9年度の「日本商工会議所青年部近畿ブロック大会」の舞鶴市での開催に向け、青年部会員一同結束を深めました。



現役青年部会員と歴代会長（前列）の皆さんでの記念撮影

寄付金の贈呈

チャリティーバザーの収益金の一部を寄付しました

チャリティーバザーの収益金の一部を、寄付金として、2月6日に「社会福祉法人 舞鶴学園」、2月10日に「社会福祉法人 舞鶴市社会福祉協議会」へお渡ししました。

この寄付金は、昨年11月16日に開催したチャリティーバザーの収益金の一部で、バザー当日は開始時間前から待ちができるほどの大盛況でした。舞鶴商工会議所女性会は、今後も社会福祉の増進に取り組んでいきます。



舞鶴学園桑原理事長（写真左）に寄付金をお渡ししました

舞鶴市社会福祉協議会 荻野会長（写真中央）に寄付金をお渡ししました



地元ものづくりの

挑戦

舞鶴工業集積協議会が
京都ビジネス交流フェアに出展しました

舞鶴工業集積協議会（会長：田中正明（株）田中製作所代表取締役社長）は、2月18日・19日に開催された「京都ビジネス交流フェア2026」に出展しました。本展示会は、京都府内のものづくり企業が優れた技術や製品を広く発信し、新たな取引や連携を生み出すBtoB特化型の商談会で、今年は201社24団体が参加し、2日間で6,200人が来場するなど大きな賑わいを見せました。

当協議会ブースでは、昨年度開発した「草刈袋詰め回収機（試作開発）」をさらに軽量化し、刈った草を集めることに特化した環境対応型「刈草回収機（試作開発）」と収集した草の圧縮機（試作開発）を中心に展示。また、レーザーカットやワイヤーカット技術を活かしたネームプレートなど協議会加盟各社の製品も紹介し、企業関係者等と活発な意見交換が行われるなど、地元企業の高い技術力を広く発信する貴重な機会となりました。



企業関係者に技術をPR
（2月18日：京都パルスプラザ）

Information インフォメーション

ビジネスマナー研修



日時 4月20日（月）午前9時30分～午後4時30分

場所 舞鶴商工会議所

講師 吉見 さつき 氏（mm.ユアーズ代表）

対象 新入社員、パート、入社3年以内の人

定員 20人（先着順）

受講料 会 員 3,000円（昼食なし：2,000円）

非会員 5,000円（昼食なし：4,000円）

※受講料は基本テキスト代、昼食代を含みます。

締め切り 4月10日（金）

申込方法 右の二次元コードまたは同封のチラシ（申込書）に必要事項を記入し、Faxでお申し込みください。電話、ホームページからも可能です。受講料は振り込みまたは当日にご持参ください。なお、振込口座は申し込み後にお知らせします。



申込用
二次元コード

問い合わせ 舞鶴商工会議所
Tel 62-4600 Fax 62-4933